

米空軍横田基地所属 CV22 オスプレイの墜落事故に関する意見書

去る11月29日午後2時40分、米空軍横田基地（東京）所属の CV22 オスプレイ1機が鹿児島県屋久島沖で墜落し、死者1人、行方不明者7人という重大な事故が発生した。

後日、この事故による死者は7人となった。

開発段階から墜落が相次いでいるオスプレイは、1991年以降で約20機が墜落し、今回の事故を除き累計で57人が死亡、米国では専門家から安全性への構造的欠陥が指摘されている。

現状として、国内には米軍と自衛隊あわせて44機の CV22、MV22、V22 オスプレイが配備されており米国以外で最多である。そのうち、MV22 オスプレイが普天間飛行場に24機配備されている。

今回の墜落事故は久米島町民の安心、安全の暮らしを守るという観点から、容易に看過できるものではない。

また、7月15日に久米島に初めてオスプレイが飛来し、3回の離着陸が確認されており、そのうちの1機は CV22 オスプレイであった。今後もオスプレイを使用した訓練等の実施も考えられる。

よって本町議会は、久米島町民と県民・国民の生命と財産を守る立場から、CV22 オスプレイの墜落事故に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

1. 事故原因が究明されるまで、CV22、MV22、V22 オスプレイの飛行を停止すること。
2. 事故原因を早期に究明しその結果を速やかに公表することや有効な再発防止策を講ずること。
3. 民間地上空での飛行訓練を中止すること。
4. 普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還を実現すること。
5. 日本の航空法を米軍にも適用する等、日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月21日

沖縄県久米島町議会